

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		水源地域等保安林整備		路河川名等			
事業毎の通番		1	市町村名	飯島町	箇所名(ふりがな)	高遠入沢(たかとおいさわ)	
事業概要	事業目的	計画地は、上伊那郡飯島町の西側地域を走る中央自動車道から約600m上部のヒノキ林地帯に位置しており、下流部には中央道のほか、人家、農地が点在する農村地帯となっている。当該溪流上部には、過去に発生した崩壊地があり、その直下には当時の崩落土砂が堆積し、不安定な状態となっている。また、周囲はヒノキ林となっているが、手入れがなされておらず、表土の流亡が認められる。今後、集中豪雨により、溪流内の不安定土砂の流下、森林内の表土の流出により、下流の人家等に甚大な被害をもたらす恐れがあるため、谷止工の施工とあわせ森林整備を実施し、下流保全対象の土砂災害の抑止を図りたい。					
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)		事業実施の根拠法令等	森林法		
	関連する事業、計画等	砂防事業					
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	中央自動車道130m、県道850m、人家28戸ほか					
	着手年度	平成30年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	10.2	国庫	その他 県債 一般財源	
	全体事業内容(主な工種)	谷止工(コンクリート)2個 森林整備(本数調整伐)22.4ha			60,700	30,350 27,000 3,350	
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	中央自動車道130m、県道850m、人家28戸ほかの保全				
		間接的効果(定量的・定性的)	なし				
	評価の視点	必要性	○人家戸数:	28戸	○公共施設数:	中央自動車道130m、県道850m	評価
		○災害時要援護者関連施設の有無:	なし	○保安林・林業用施設:	64.10ha/68.07ha=94.2%	A	
重要性		○過去の災害履歴:	昭和58年9月の台風10号により土石流が発生し人家が被災した。	○交通遮断による地域経済への影響:	中央自動車道の被災による物流等への影響が懸念される。	評価	
		○地域防災計画上の位置付け:	なし			A	
効率性		費用便益比(B/C)	10.23	事業期間	3年間(H30~H32)	評価	
		工法等の比較検討	なし	流域の総合調整	土地所有者である中川村と調整中	B	
緊急性	流域の地形、地質	花崗岩	平均斜面勾配(平均山腹勾配)	平均斜面勾配 20°	評価		
	下流の堰堤等の整備状況	なし	山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域	Aランク(山地災害危険地区指定手続き中)	A		
計画熟度	事業情報の共有	H29.11.30、事業について中川村役場(土地所有者)へ情報提供				評価	
	地域の取り組み	H30.4、事業について土地所有者へ情報提供の予定				B	
	住民との協働	なし					
所管課意見	当該地は地質が脆弱で、過去の崩落土砂が溪流内に堆積しており、また、手入れ不足による森林の荒廃も見られる。今後の豪雨等により、下流の人家等や高速道路に土砂が流出する恐れがあるため、溪間工、森林整備による対策工を行う必要がある。			採択状況	総合評価		
				○	A		
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。						

事業概要説明図表	【位置図】		
	【平面図】		
事業概要説明図表	【状況写真】		
	事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	昭和58年台風10号により土石流が発生し、下流の人家が被災した経過がある。
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	保全対象に中央自動車道や主要地方道があり、地元からの要望が強い。	
	③事業説明等の経緯	町及び地域振興局所で現地調査を行い、被災原因と今後の対応を検討した。今後関係者に周知する予定。	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	通常砂防事業(砂防堰堤)の計画がある。	
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	コンクリート構造物のみに頼るのではなく、土砂流出を抑止するための「災害に強い森林」の造成など、森林の持つ機能を活かし、自然環境に調和した整備を取り入れる。	
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により物流などのライフラインの安全が担保され、地域経済の活性化への悪影響が除かれる。	
	⑦その他	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 35° 38' 50" 19 東経:E 137° 53' 17" 70